

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

くらしと健康

No. 654 2022年 4月号 1部60円 発行 東京勤労者医療会代々木病院 院長 河邊 博正 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7 TEL 03(3404)7661 http://www.tokyo-kinikai.com/yoyogi

コロナ禍第6波の中で、地域に求められる役割を担って

3回目ワクチン接種は、オミクロン株の急激な感染拡大の最中の対応となりました。今年1月渋谷区から3回目の新型コロナウイルス接種は、

ワクチン供給が少なく、2月実施予定が当初半日1回のみ

「早くワクチン接種したい。代々木病院でなぜ接種できない」の声

代々木病院では、昨年1回目の、2回目のワクチン接種では、延べ約1万5千人の接種でほぼ毎日接種を行ってきました



3回目ワクチン接種の受付

代々木病院3回目ワクチン接種の取組み

新型コロナウイルスオミクロン株による第6波の急激な感染拡大の中、代々木病院では3回目の新型コロナウイルス接種会場として、地域

に求められる役割を果たしてきました。ワクチン接種を担当している代々木病院健診センターの逆井範夫課長に話を聞きました。(編集部)

日ごの実施予定となり、1月21日の予約開始日には30分ほどで予約が埋まってしまいました。また渋谷区では、この時3回目接種の間隔について、モデルナ社は2回目から7か月以降、ファイザー社は8ヶ月以降という運用をとっていたため、早く受けた方はモデルナ社ワクチンで、会場は集団接種会場の文化総合センター大和田のみであったため、

(2面へつづく)

ロシアはウクライナへの軍事侵略をやめ即時撤退を

代々木病院事務局長

澤田 和恵

核の使用・共有・持ち込み許さず、憲法9条を守り抜こう

2月24日、ロシアのプーチン大統領はウクライナへの軍事侵攻を行ないました。自分たちの生活が一変してしまう、町が一瞬で瓦礫の山になってしまう、子どもたちが怯えきった眼差しでどこを見ているのか、世界に発信された映像に、言葉がありませんでした。

て、国連憲章に基づく集団的自衛であるとし「平和維持」を一方向的に主張したので。 さらにプーチン大統領は、核兵器使用を辞さない構えを示唆するなど常軌を逸しています。ウクライナの主権と領土はウクライナのものであり、これを侵すことは国連憲章、国際法を踏みにじるまぎれもない侵略行為であり、決して許されるものではありません。

ウクライナへの軍事侵攻の翌日から、全日本医連総会が開催されました。戦争反対、核兵器をなくし平和を守ろうことを綱領に掲げ民医連医療を實踐してきた私たちは、憲法9条を守り抜く、民医連の存在や役割を發揮していきたいと思えます。



千駄ヶ谷駅前、地域の諸団体と一緒に「ロシアはウクライナへの軍事侵略をやめ即時撤退を」と訴え、マイクでアピールする代々木病院若手職員

千駄の萱

4月号は春らしく明るい話題を取り上げようと思っていたところが、とんでもない事になった。そう、ロシアによるウクライナ侵略である。

この号が出る頃には停戦していることを祈るが、それまでにどれだけの被害がでているのか。この21世紀に超軍事大国が隣国へ一方向的に戦争をしかける。こんな事があるというわけがない▼ベラルーシも含めて民族的にも言語的にも同系の兄妹のような国であり、相互に親戚・家族が居る同士。そもそも現ロシア国旗の三色は、ロシアの赤、ベラルーシの白、ウクライナの青から成り立っているのだ▼こういう話をすると「そういう兄妹であるウクライナが裏切ってNATO加盟をはかったから悪い」という論法を持ち出す人がいる。確かにそこに問題はある。しかし軍事力を持って相手国を蹂躪していいと言ふことにはならない。第二次世界大戦前とは違う(当てもダメだと思ふが)▼今のプーチンのやり方は、ヒトラーによるポーランド侵攻に酷似している。ゆえに第三次世界大戦の引き金とならないよう世界が団結して食い止めて欲しい。(ひ)